

No	提 案 名	提案団体名	
		代表者氏名	所 属
9	食による宇都宮の活性化	作新学院大学 那須野ゼミナール 3年生	
		内村 凌士	作新学院大学 経営学部
		指導教官 氏 名	那須野 公人

## <目 次>

1. 提案の趣旨と目標
2. 調査分析―「B-1 グランプリ」及び「B-1 グランプリ類似イベントの活況」
  - (1) B-1 グランプリの開催経過とその効果
  - (2) B-1 グランプリ地方大会
  - (3) 県版「B-1 グランプリ類似イベント」
  - (4) 市町村版「B-1 グランプリ類似イベント」
  - (5) アンケート結果の分析
3. 施策事業の提案

### 1. 提案の趣旨と目標

食に関するイベントで、近年最も注目されているものは、B級グルメ日本一を決める「B-1 グランプリ」である。その経済効果は驚くほど大きく、最近では「B-1 グランプリ」地方大会の他、各県あるいは市町村版の「B-1 グランプリ類似イベント」や「麺 1 グランプリ」といったイベントも開催され、それぞれ大きな経済効果を生み出している。

そこで、「B-1 グランプリ」と「B-1 グランプリ類似イベント」について調査するとともに、栃木県版「B-1 グランプリ」や「B-1 グランプリ類似イベント」を開催した場合の効果、さらには地元の「B 級グルメ」に対する認知度に関するアンケート調査を、本学経営学部の学生を対象に実施し、食による宇都宮市活性化の可能性を探った。

また、一部でかなり有名となっている那須塩原市の B 級グルメ「スープ焼そば」の店を、ゼミ合宿の際に訪れ、栃木県を代表する B 級グルメの一つを味わうとともに、その人気とブームの理由を実感してきた。

上記のような調査をふまえ、宇都宮市での食に関するイベント開催による活性化の具体的方策を提案したい。

### 2. 調査分析―「B-1 グランプリ」及び「B-1 グランプリ類似イベント」の活況

#### (1) B-1 グランプリの開催経過とその効果

B-1 グランプリの正式名称は「B級ご当地グルメの祭典！B-1 グランプリ」である。B-1 グランプリの公式サイトでは、B-1 グランプリについて、次のように述べられている。「メディアで『日本最大規模のグルメイベント』として紹介されることがありますが、実は私たちは B-1 グランプリをグルメイベントとして開催しているではありません。B-1 グランプリでは、

日本全国の自慢の料理が提供されます。しかし料理を売ること自体を目的としているのではなく、料理を通じて『地域を PR する』ことで、一人でも多くのお客さんに現地に足を運んでもらおうという、地域活性化を目的とした『まちおこしイベント』なのです」。

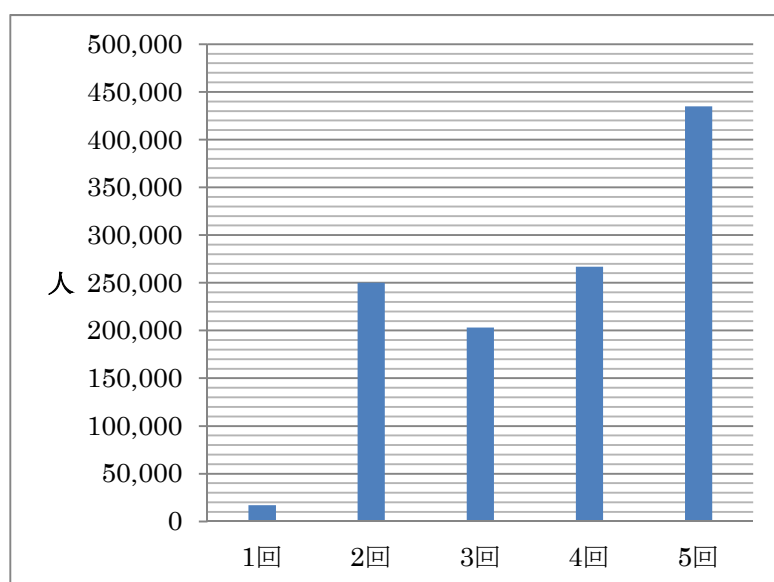
では、B-1 グランプリによる地域活性化の効果はどれほどあるのでしょうか。2006年2月18・19日に静岡県富士宮市で行われた第1回の来場者数は、1.7万人であった。しかし、第2回以降急速に来場者数が増加している。すなわち、第2回（2007年6月2・3日、静岡県富士宮市）の来場者数は25.0万人、第3回（2008年11月1・2日、神奈川県厚木市）の来場者数は20.3万人。第4回（2009年9月19・20日、秋田県横手市）の来場者数は26.7万人、そして第5回（2010年9月18・19日、山梨県甲府市）の来場者数は43.5万人となっている（表1、図1参照）。

表1 B-1 グランプリの開催経過

回	開催日程	開催地	グランプリ	ご当地名	来場者
1	2006年2月	青森県八戸市	富士宮やきそば	静岡県富士宮市	1.7万人
2	2007年6月	静岡県富士宮市	富士宮やきそば	静岡県富士宮市	25.0万人
3	2008年11月	福岡県久留米市	厚木シロコロ・ホルモン	神奈川県厚木市	20.3万人
4	2009年9月	秋田県横手市	横手やきそば	秋田県横手市	26.7万人
5	2010年9月	神奈川県厚木市	甲府鳥もつ煮	山梨県甲府市	43.5万人

（出所）B-1 グランプリ公式サイト <http://b-1grandprix.com/cat3/>（2011年10月26日）

図1 B-1 グランプリ来場者数の推移



（出所）表1にもとづき作成。

## (2) B-1 グランプリ地方大会

B-1 グランプリには、地方大会がある。2011年についてみると、9月10日・11日には埼玉県行田市で関東支部の大会が開催され、1日目に5.2万人、2日目に8.5万人、計13.7万人が来場している（表2参照）。

表2 関東B-1 グランプリ(埼玉県行田市)

開催日程	順位	ご当地名	料理名	来場者
2011年9月 10・11日	ゴールドグランプリ	山梨県甲府市	甲府鳥もつ煮	・10日 5.2万人
	シルバーグランプリ	千葉県勝浦市	勝浦タンタンメン	
	ブロンズグランプリ	神奈川県厚木市	厚木シロコロ・ホルモン	・11日 8.5万人
	第4位	神奈川県三浦市	三崎まぐるラーメン	
	第5位	神奈川県南足柄市	足柄まさカレー 黄金のポット	

(出所) 関東B-1 グランプリ in 行田 公式サイトにより作成。

<http://www.kantob-1.jp/info/result.html> (2011年10月24日)

また、2011年5月21・22日には、姫路市で近畿・中国・四国支部大会が行われ、18.5万人が来場している。なお、この支部大会では、東日本大震災の被災地団体(2団体)が招待されている。その他、2011年9月24・25日には愛知県豊川市で中日本・東海支部大会が開催され、21.8万人が来場している。支部大会においても、20万人前後の来場者を集めている大会があり、B級グルメの人気の程がうかがわれる。

表3 埼玉B級ご当地グルメ王決定戦

回数	開催日程	開催地	優勝	準優勝
1	2007年11月11日	行田市	煮ぼうとう(深谷市)	ゼリーフライ(行田市)
2	2008年5月3~5日	さいたま市	豆腐ラーメン(さいたま市)	煮ぼうとう(深谷市)
3	2008年11月24日	川口市	キューポラ定食(川口市)	豆腐ラーメン(さいたま市)
4	2009年5月3・4日	さいたま市	豆腐ラーメン(さいたま市)	岩槻ねぎの塩焼きそば(さいたま市)
5	2009年11月14日	秩父市	みそポテト(秩父市)	つみっこ(本庄市)

6	2010年5月3-4日	さいたま市	すったて(比企郡川島町)	こうのす川幅うどん(鴻巣市)
7	2010年11月21日	加須市	加須市みんなで考えた肉味噌うどん(加須市)	飯能すいとん(飯能市)
8	2011年5月1日	さいたま市	草加小松菜チヂミバーガー(草加市)	豆腐ラーメン(さいたま市)

(出所) 埼玉県公式観光サイト「ちょこたび埼玉」にもとづき作成。

[http://www.sainokuni-kanko.jp/?page\\_id=63](http://www.sainokuni-kanko.jp/?page_id=63) (2011年10月24日)

### (3) 県版「B-1 グランプリ類似イベント」

埼玉県では、「埼玉 B 級グルメご当地王決定戦」という、県版の「B-1 グランプリ類似イベント」が開催されている。第1回は2007年11月11日に行田市で開催され、2008年からは春と秋に年2回開催されており、その回数は表3のようにすでに8回に及んでいる。第8回は2011年5月1日にさいたま市で開催され、強風のため正午で中止になったが、午前中だけで2万5千人が来場した。

その他、他県でも「県版 B-1 グランプリ類似イベント」が行われている。たとえば、「鹿児島ご当地グルメグランプリ 2011in 出水」や「新ご当地グルメグランプリ北海道 2011in 北見」等がある。

### (4) 市町村版「B-1 グランプリ類似イベント」

2010年11月20～23日まで足利市で開催された「足利グルメグランプリ」には、2万9千人が来場した(表4参照)。

その他にも、札幌市の「すすきのグルメグランプリ」、兵庫県上郡町の「P-1 グランプリ」(会場：ピュアランド山の郷)等が開催されている。

表4 足利グルメグランプリ

開催日程	グランプリ	2位	3位	来場者数
2010年11月20～23日	元祖足利名物 ポテト入りやきそばバーガー	こだわりかぼちゃプリン	ホルモン焼きうどん	2万9千人
出展者	ハッピーグルメ(こばらベーグル&やきそば いち)	ポムドテール	足利うどん	

(出所) 「第1回足利グルメグランプリ結果発表!!」にもとづき作成。

足利市公式ホームページ。

<http://www.city.ashikaga.tochigi.jp/page/kankou-gourmetgp2.html>

(2011年10月24日)

これらのなかでも、やはり最も注目されているものは、B級グルメの日本一を決める「B-1グランプリ」である。その経済効果はきわめて大きく、第1回と第2回で優勝した富士宮やきそばの場合、コンサルタント会社は2007年度以降の経済効果を200億円超と推定している。第3回の優勝の厚木シロコロ・ホルモンの場合には、出展団体の調査によると、優勝が決まった08年11月から3カ月間で30億円の経済効果があったとされる。

こうした大きな経済効果から、最近ではB-1グランプリの地方大会の他、各県版や市町村版のB-1グランプリ、さらには図2の「麺1グランプリ」のような「B-1グランプリ類似イベント」も開催されているのである。

以上の調査・分析によって、「B-1グランプリ」及び「B-1グランプリ類似イベント」が、大きな経済効果を生み出すとともに、それぞれ地域活性化に役立っていることが確認できた。そこで次に、作新学院大学経営学部の学生を対象に、「食による宇都宮の活性化」に関するアンケート調査を行い、宇都宮市でB級グルメ等食に関するイベントを開催した場合の関心や効果について調べてみた。

図2 麺-1グランプリ



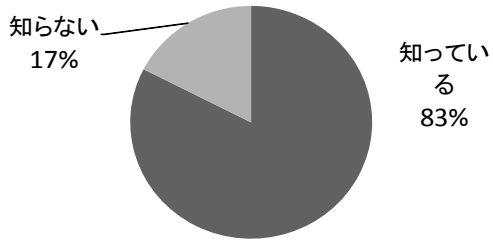
(出所)「群馬 DC『麺-1 グランプリ』in 館林」公式サイトより。

<http://www.t-cci.jp/men1/> (2011年10月19日)

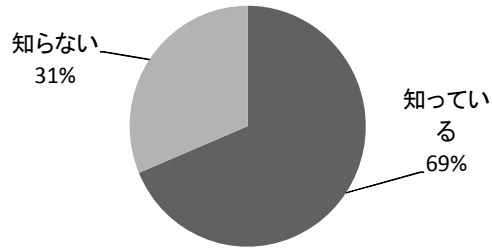
#### (5) アンケート結果の分析

アンケートの回答者は、作新学院大学経営学部の学生100名である。まず、問1として「B級グルメを知っていますか?」と聞いたところ、知っていると答えた人が83%、知らないと答えた人が17%であり、「B級グルメ」という言葉の認知度が極めて高いことがわかった。次に、問2で「B-1グランプリを知っていますか?」と聞いたところ、知っていると答えた人が67%、知らないと答えた人が33%であった。「B-1グランプリ」の認知度も7割近いことがわかった。問3では、全国の十大焼きそばにも数えられる栃木県の2つのB級グルメについて聞いた。「スープ入り焼きそば」(那須塩原市)を知っている人と答えた人は28%、「ジ

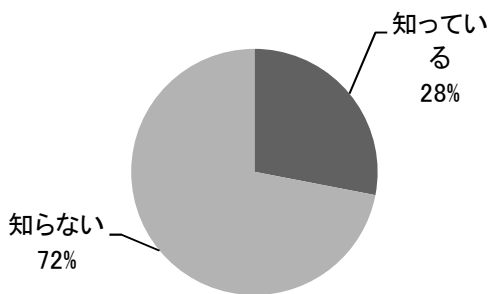
問1 B級グルメを知っていますか



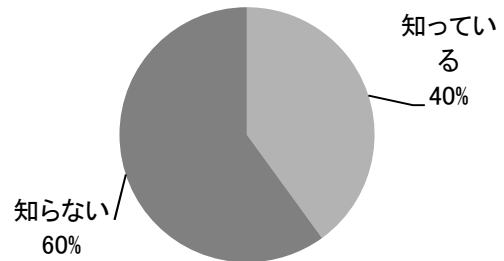
問2 B1グランプリを知っていますか



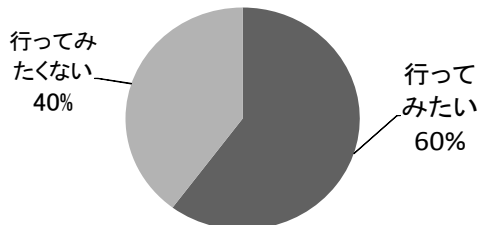
問3-1 スープ入り焼きそば（那須塩原市）を知っていますか



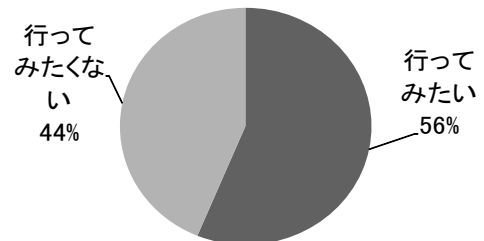
問3-2 ジャガイモ入り焼きそば（栃木市等）を知っていますか



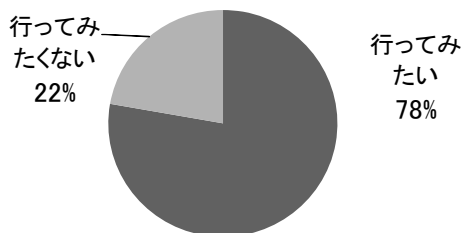
問4 宇都宮市で「地域版B1グランプリ」が開かれるとしたら、あなたは行ってみたいと思いますか



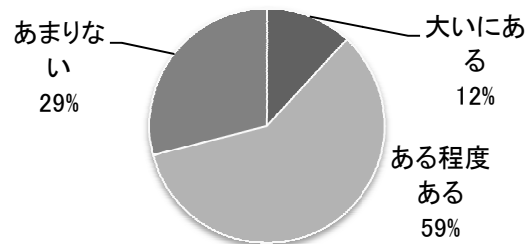
問4-1 「地域版B1グランプリ」に行ってみたくないですか（男性）



問4-2 「地域版B1グランプリ」に行ってみたくないですか（女性）



問5 「栃木県粉モノグランプリ」を開催した場合、集客効果はあると思いますか



ジャガイモ入り焼きそば」(栃木市等)を知っていると答えた人は 40%であった。

「スープ入り焼きそば」の店は、この夏ゼミ合宿で訪れた。午後 3 時頃であったにもかかわらず、多くのお客さんがいたことに驚いた。焼きそばにスープが入っているという斬新さが人気を呼んでいるものと思われるが、今回の調査では「ジャガイモ入り焼きそば」の方が認知度が高かった。

問 4 では、「宇都宮市で『地域版 B1 グランプリ』が開かれるとしたら、あなたは行ってみたいと思いますか?」と聞いたところ、行ってみたいと答えた人が 60%を占めた。これを男女別に分析してみると、行ってみたい割合は男性が 57%であったのに対して、女性は 75%にのぼった。女性の食べ物あるいは食に関するイベントに対する関心が、きわめて高いことが明らかとなった。

### 3. 施策事業の提案

宇都宮市は、「餃子の街」であるだけでなく、「カクテルの街」「ジャズの街」でもある。しかし、何といても最も有名なのは、「餃子の街」としての宇都宮である。また、近年 B 級グルメが注目されているが、餃子は代表的な B 級グルメの一つといってもよい。そこで、宇都宮市の場合には、B-1 グランプリの成功に学びつつ、B 級グルメとしての「餃子」を中心に、さらなる活性化を目指したらどうであろうか。

「B-1 グランプリ」成功の理由は、その大会に行くことによって、日本各地の B 級グルメが食べられるだけでなく、B 級グルメ日本一を決める投票に自らが参加できるという楽しみも大きいのではないだろうか。また投票によって日本一を決めることで、各地の自治体が競い合い、それが街興しにつながっていること、さらに優勝した B 級グルメの店や街には、その後多くの観光客が訪れるという経済効果も大きい。「B-1 グランプリ」の日本一を決めることによる様々な効果に、注目すべきであろう。

そこで、餃子日本一を決める「餃子グランプリ (G1 グランプリ)」の宇都宮市で開催することを提案したい。餃子の有名な街、あるいは餃子を観光資源として活用しようとしている街は、宇都宮市や浜松市のほかにも、福島市、宮代町 (埼玉県)、蒲田 (東京都大田区)、川崎市、静岡市、裾野市 (静岡県)、津市、神戸市、等がある。そこで、宇都宮市がこれらの街に声をかけ、「餃子グランプリ (G1 グランプリ)」を開催するのである。3.11 の津波による被害に加え、原発事故による影響を受けて苦しんでいる福島市の餃子店も宇都宮同様満州からの帰国者を起源としている。そこで、第 1 回目はこれらの店を招待して「東日本大震災支援—第 1 回餃子グランプリ (G1 グランプリ)」と銘打って開催し、売上金の一部を被災者支援にまわしたらどうであろうか。

開催時期は、従来秋に行ってきた餃子祭りとは別に、春に開催し、宇都宮への集客機会を増やすことを提案したい。また、グランプリの決定は、実際に餃子を食べた来場客の投票によるものとし、優勝、準優勝、第 3 位の他、特別賞等も決定することにする。優勝以外にいくつかの賞を決めるのは、参加者の今後のはげみになるだけでなく、大会後に観光客がそれらの店や街を訪れるという経済効果が期待できるからである。

なお、この大会の集客を、旅行会社と組んで行うことも考えられる。今年行われた「麺 1

グランプリ」では、これに向けた旅行会社の日帰りバスツアーが組まれていた。おそらくこれは、大会事務局と旅行会社が連携して企画したものと思われる。上記アンケート結果でもわかるように、食べ物あるいは食のイベントに対する女性の関心は男性以上に高いことから、旅行会社とタイアップして、女性参加者の多い日帰りバスツアーのコースに組み込んでもらうこともよいのではないだろうか。

[文中に記載した以外の参考資料]

- ・ 田村秀『B級グルメが地方を救う』集英社新書、2008年.
- ・ B級ご当地グルメの祭典B-1「グランプリ」公式サイト  
<http://b-1grandprix.com/b-1a.html> (2011年10月24日)
- ・ 「B級グルメの祭典経済効果は数百億円規模」  
<http://netafull.net/business/035774.html> (2011年4月27日)